※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	3 年次
使用教科書	『精選現代文Ｂ』（明治書院）						
副教材等	頻度順入試漢字の総練習三訂版（三省堂）、完成日本文学史ノート三訂版（京都書房）、錬成現代文２＋（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

3 年生では、2 年生までに学習した漢字や語句の知識を活用し、より抽象度の高い評論文や物語を読み解いていきます。専門分野に関する評論文や読み解くために知識を要する物語を扱うことになりますので、知らない言葉は各自で辞書を引いておきましょう。課題は問題集の提出などを予定しています。しっかり取り組みましょう。授業は集中して説明を聞き、単元ごとに内容を自分で復習しておきましょう。授業で取り組んだ内容が理解できているかどうかは、授業中の解答とノートやプリントの記述内容、定期考査で判断します。理解できない部分をそのままにせず、その都度質問してください。

2　学習の到達目標

・語句の意味を的確にとらえた上で、文章内容に沿って理解できている。
・文章の主旨などを自分の言葉で適切に説明でき、その上に自らの意見を持ち、表現できている。
・予習や課題が期限までに取り組めている。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に取り組み、現代文について学ぶ意欲がある。	・本文の内容を踏まえた上で、自らの意見を述べることができる。 ・他者の意見をしっかりと聞くことができる。	・ノートに本文の内容をまとめられる。 ・自分の意見や感想を書くことができる。	・現代文を理解する為に必要な語句の知識や、背景知識、文学史の知識などを理解し、定着できている。
評価方法	・行動の観察（授業態度・発言） ・提出物の点検	・行動の観察（授業態度・発言）	・ノートやプリントの点検	・提出物の点検 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	小説	P244「檸檬」梶井基次郎	○		○		ａ：物語の展開と筆者の論旨を読み解こうとする。 ｃ：人物像や心情を読んで理解し、自らの意見を書く。	行動観察 定期考査 ノート点検
	評論	P231「グローバリゼーションの光と影」小熊英二						
一学期期末	評論	P236「憲法への招待」渋谷秀樹	○			○	ａ：論理の展開と筆者の論旨を読み解こうとする。 ｄ：形式的平等と実質的平等・について理解する。	行動観察 定期考査 ノート点検
二学期中間	小説	P312「舞姫」森鴎外	○	○	○		ａ：文語表現を読み解こうとする。 ｂ：本文の人物像や心情を理解した上で、自らの意見をまとめることができる。 ｃ：人物像や心情を読んで理解し、自らの意見を書く。	行動観察 定期考査 ノート点検
二学期期末	評論	P356「釣りのハイパー・セミオティクス」中沢新一	○			○	ａ：筆者の論旨を読み解こうとする。 ｄ：詩の知識を理解する。	行動観察 定期考査 ノート点検
	詩	P286「二十億光年の孤独」谷川俊太郎						
三学期	評論	P382「私の個人主義」夏目漱石	○		○		ａ：筆者の論旨を読み解こうとする。 ｃ：筆者の意見を読み解くことができる。	行動観察 定期考査 ノート点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現 c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。